

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ **A型肝炎**の報告が1例(30歳代男性)があり、症状は食欲不振・黄疸・肝腫大・肝機能異常です。感染地域は国内です。本年初めての報告となっています。
- ・ **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が3例(60歳代女性, 70歳代女性及び70歳代男性)あり、本年の累積報告数は45例となりました。
京都市では、「高齢者肺炎球菌ワクチン」を定期予防接種として実施しています。詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期的予防接種について(健康安全課ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000175159.html>
- ・ **梅毒**の報告が1例(40歳代男性)あり、症状は硬性下疳、梅毒性バラ疹です。感染地域は国内、感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は35例となりました。
- ・ **風しん**(検査診断例)の報告が1例(50歳代男性)あり、症状は発疹、発熱です。感染経路は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は2例となりました。
- ・ **感染性胃腸炎**の定点当たり報告数は前週8.00から微増し、8.09となりました。

◆ 今週のトピックス:<咽頭結膜熱>

京都市における咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、前週0.16(7例)から今週0.56(24例)に、全国では前週0.64から今週0.85と増加しました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 7例(肺結核 3例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 138例(肺結核 57例, その他結核 35例, 潜在性結核感染者 46例)うち喀痰塗抹陽性 28例】
- ・ 四類:A型肝炎 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 3例【1月以降の累積報告数 45例】
- ・ 五類:梅毒1例【1月以降の累積報告数 35例】
- ・ 五類:風しん(検査診断例) 1例【1月以降の累積報告数 2例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.07	5
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	8.09	348
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.16	50
	③ 突発性発しん	0.65	28
	④ 咽頭結膜熱	0.56	24
	⑤ 水痘	0.28	12
眼科	流行性角結膜炎	0.30	3

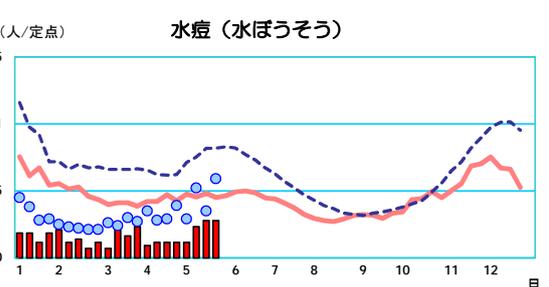
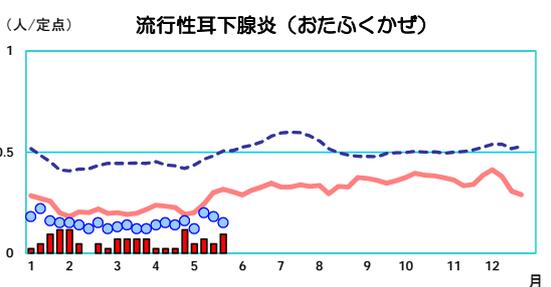
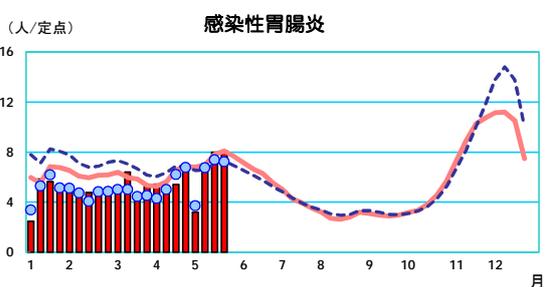
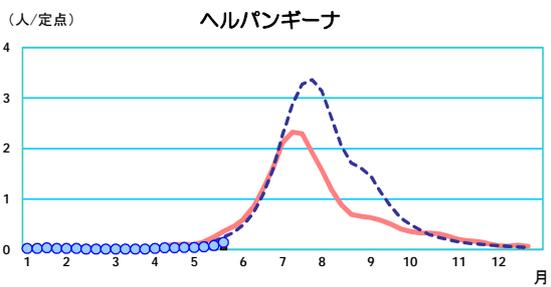
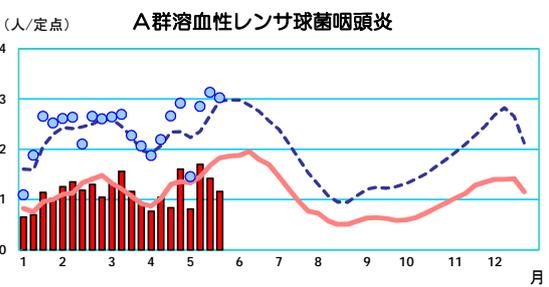
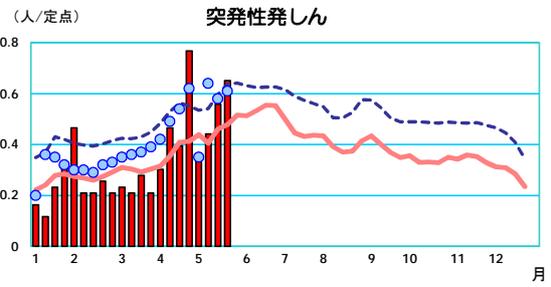
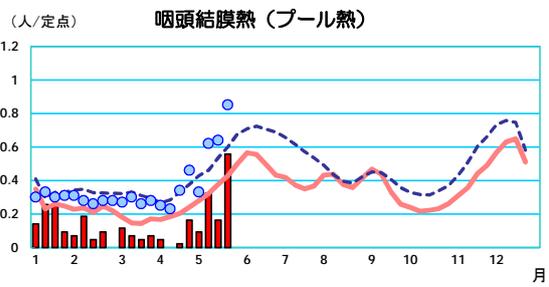
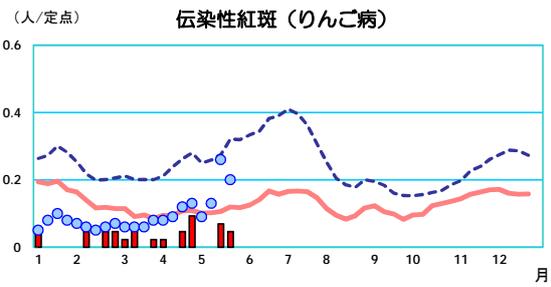
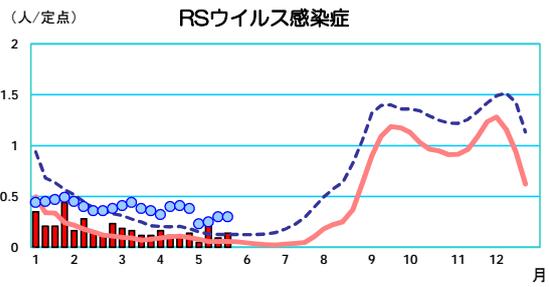
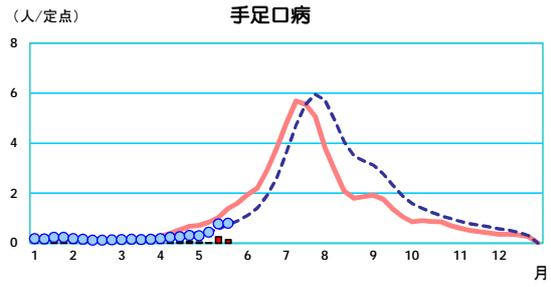
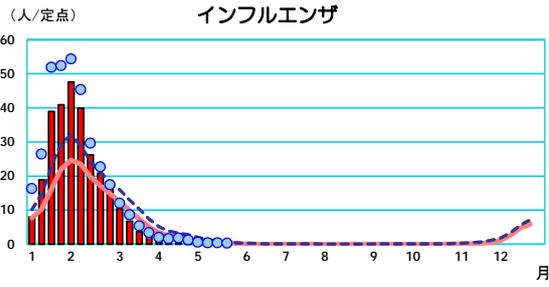
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<咽頭結膜熱>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成30年5月30日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。
※ 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



第21週(5月21日～5月27日)トピックス: <咽頭結膜熱>

京都市における咽頭結膜熱の定点あたり報告数は、前週0.16(7例)から今週0.56(24例)に、全国では前週0.64から今週0.85と増加しました。また、過去5年間平均値の推移を見ても、夏季と冬季に流行のピークが見られ、これからの季節注意が必要です(図1)。

感染経路は、通常飛沫感染、あるいは手指を介した接触感染で、プールを介した感染の場合、汚染した水から結膜への直接侵入と考えられています。

また、年齢階級別割合の推移を見ると、過去3年は5歳以下の乳幼児が8割以上を占めています(図2)。これから、保育所や幼稚園でのプールの利用が増えることから注意が必要です。集団感染を防ぐためにもプール水の衛生管理は重要となります。

○「京都市こどもの感染症，6月はプール熱 黄信号！」

京都市情報館 こどもの感染症，平成30年6月号(PDF形式)，(京都市衛生環境研究所)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000146238.html>

○「プールの衛生管理について」

京都市情報館 (保健福祉局 医療衛生推進室 医務衛生課 生活衛生担当)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000136424.html>

プールには塩素消毒剤が投入され、その濃度が管理されていると思われませんが、塩素は短時間で殺菌効果をなくしてしまうため、1時間に1回程度の濃度の確認が必要です。pH5.8～8.6、塩素濃度は0.4～1.0mg/Lが目安ですので十分配慮しましょう。塩素消毒に代えて二酸化塩素により消毒を行う場合には、二酸化塩素濃度は0.1mg/L以上0.4mg/L以下、亜塩素酸濃度は1.2mg/L以下となっています。

なお、咽頭結膜熱は、感染症法では5類感染症定点把握疾患に定められていますが、学校保健安全法では、第二種感染症に位置づけられており、主要症状が消退した後2日を経過するまで出席停止とされています。

図1 京都市と全国の定点あたり報告数の推移

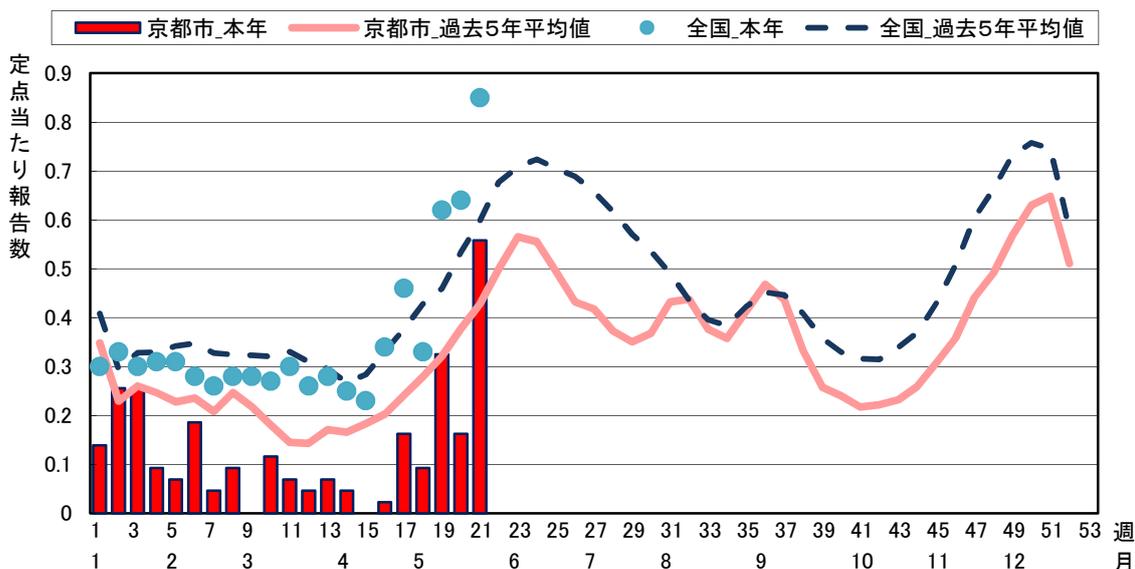
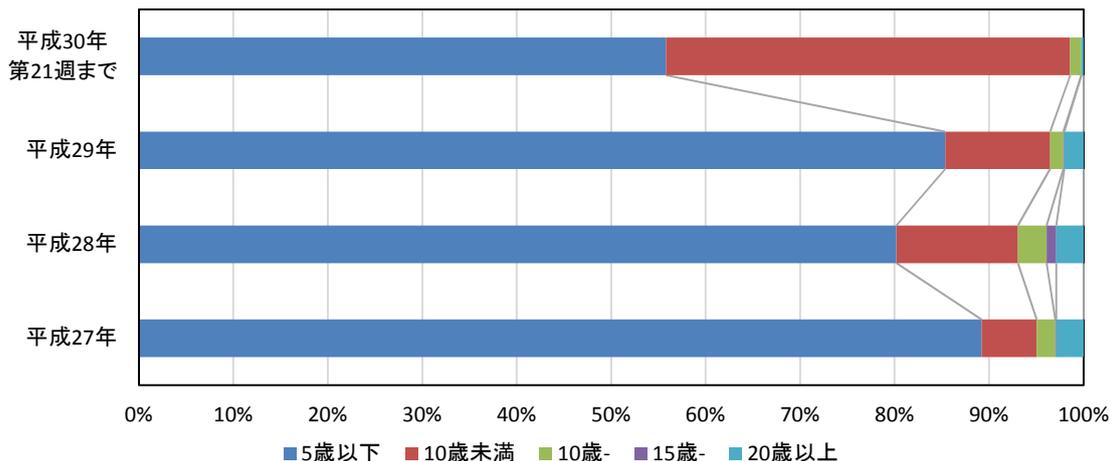


図2 京都市の年齢階級別割合の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第21週

疾病,行政区別報告数

平成30年5月21日～平成30年5月27日

データ入手日:平成30年5月30日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
北	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
上京	-	-	1	2	11	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	1	5	60	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	2	-	4	17	2	2	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	3	21	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	3	5	6	17	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-
下京	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	1	2	23	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	2	1	10	12	68	1	2	-	7	1	1	-	-	-	-	-	-	-
伏見	1	-	3	7	90	4	2	1	9	-	1	-	1	-	-	-	-	-
西京	1	-	3	7	32	1	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	5	6	24	50	348	12	6	2	28	4	4	-	3	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	-	0.50	0.75	-	-	-	-	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-
北	-	-	-	0.50	0.75	-	-	-	-	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-
上京	-	-	0.33	0.67	3.67	1.00	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	0.25	1.25	15.00	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	0.67	-	1.33	5.67	0.67	0.67	-	-	1.00	0.33	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	1.50	10.50	0.50	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	0.60	1.00	1.20	3.40	-	-	-	0.40	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-
下京	0.33	-	-	-	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	0.33	0.67	7.67	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	0.25	0.20	2.00	2.40	13.60	0.20	0.40	-	1.40	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-
伏見	0.09	-	0.43	1.00	12.86	0.57	0.29	0.14	1.29	-	0.14	-	0.50	-	-	-	-	-
西京	0.13	-	0.60	1.40	6.40	0.20	-	0.20	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	0.07	0.14	0.56	1.16	8.09	0.28	0.14	0.05	0.65	0.09	0.09	-	0.30	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第21週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年5月21日～平成30年5月27日

データ入手日:平成30年5月30日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	5	-	-	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	6	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		24	1	3	10	2	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		50	-	1	3	4	6	4	12	7	1	4	2	2	1	3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		348	2	35	61	53	33	39	30	22	15	6	8	19	6	19	-	-	-	-	-	-
水痘		12	-	-	-	1	1	2	2	1	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		6	-	1	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		28	-	15	10	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		4	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	年齢2	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.07	-	-	0.04	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.14	0.05	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.56	0.02	0.07	0.23	0.05	0.16	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.16	-	0.02	0.07	0.09	0.14	0.09	0.28	0.16	0.02	0.09	0.05	0.05	0.02	0.07	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		8.09	0.05	0.81	1.42	1.23	0.77	0.91	0.70	0.51	0.35	0.14	0.19	0.44	0.14	0.44	-	-	-	-	-	
水痘		0.28	-	-	-	0.02	0.02	0.05	0.05	0.02	0.02	0.02	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		0.14	-	0.02	-	0.09	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.65	-	0.35	0.23	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		0.09	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		0.09	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流行性角結膜炎	年齢2	0.30	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	0.10	-	-		
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第21週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年5月30日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	37	41	14	15	16	5
RSウイルス感染症	5	6	2	9	4	6
咽頭結膜熱	1	7	4	14	7	24
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36	69	35	73	61	50
感染性胃腸炎	233	285	137	304	344	348
水痘	5	5	5	10	12	12
手足口病	3	3	2	1	11	6
伝染性紅斑	2	4	-	-	3	2
突発性発しん	17	33	15	19	24	28
ヘルパンギーナ	2	1	2	-	3	4
流行性耳下腺炎	1	5	2	3	2	4
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	7	4	2	10	3
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	344	466	222	450	497	492

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.54	0.59	0.20	0.22	0.23	0.07
RSウイルス感染症	0.12	0.14	0.05	0.21	0.09	0.14
咽頭結膜熱	0.02	0.16	0.09	0.33	0.16	0.56
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.84	1.60	0.81	1.70	1.42	1.16
感染性胃腸炎	5.42	6.63	3.19	7.07	8.00	8.09
水痘	0.12	0.12	0.12	0.23	0.28	0.28
手足口病	0.07	0.07	0.05	0.02	0.26	0.14
伝染性紅斑	0.05	0.09	-	-	0.07	0.05
突発性発しん	0.40	0.77	0.35	0.44	0.56	0.65
ヘルパンギーナ	0.05	0.02	0.05	-	0.07	0.09
流行性耳下腺炎	0.02	0.12	0.05	0.07	0.05	0.09
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.70	0.40	0.20	1.00	0.30
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	7.83	11.02	5.35	10.49	12.19	11.63

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。